

(令和 3 年度在宅医療関連講師人材養成事業 訪問看護分野)

「令和 3 年度訪問看護講師人材養成研修会」受講者

研修会受講後活動に関する調査

～行政担当者～

【結果】

2022 年 2 月 28 日

一般社団法人全国訪問看護事業協会

## 調査概要

### 目的

「令和３年度訪問看護講師人材養成研修会」を修了した受講者がどのような活動をしているか把握するために調査を行った。

### 調査対象

「令和３年度訪問看護講師人材養成研修会」に参加した都道府県担当者  
(複数人受講された都道府県は、代表者１人より回答を得た)

### 調査方法

メールに記載されたアンケートのリンク先より、Webにて回答を得た。

### 調査時期

令和４年１月６日から１月２８日まで

### 回収状況

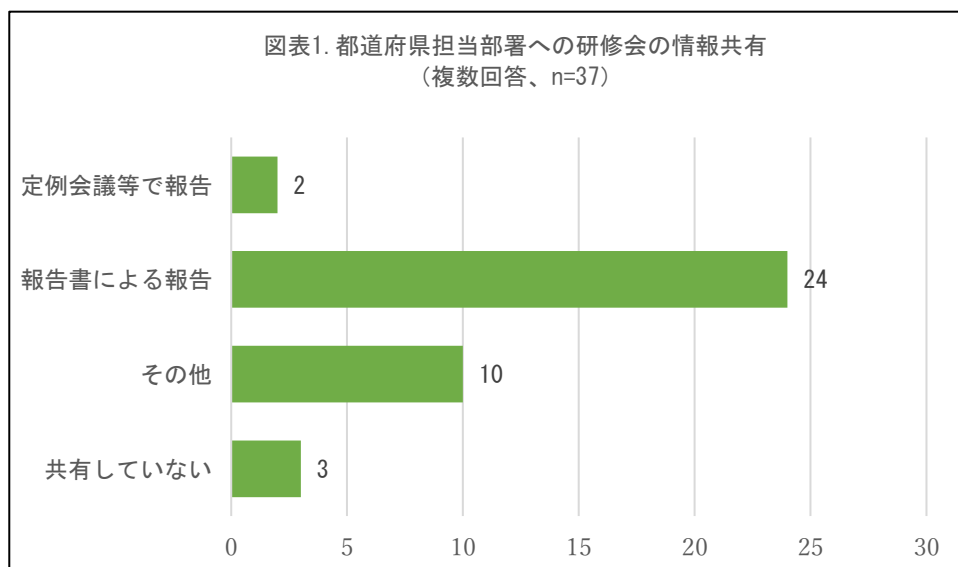
参加した４２の都道府県のうち、３７都道府県（３７人）より回答を得た。  
回収率：８８．１％

## I. 基本情報について

### 1. 都道府県担当部署への研修会の情報共有

都道府県担当部署への研修会の情報共有をどのように行ったかについて

「報告書による報告」が64.9%（24人）と最も多く、「定例会議等で報告」が5.4%（2人）、「その他」が27.0%（10人）であった。一方「共有していない」と回答したものは8.1%（3人）であった。



「その他」の自由記載（10人 27.0%）

- ・ 他課へも口頭にて情報共有を行った。
- ・ 関係課と打ち合わせで報告した。
- ・ 資料の共有をした。
- ・ 今後ほかの参加者とともに報告会を予定メール及び面接により情報共有した。

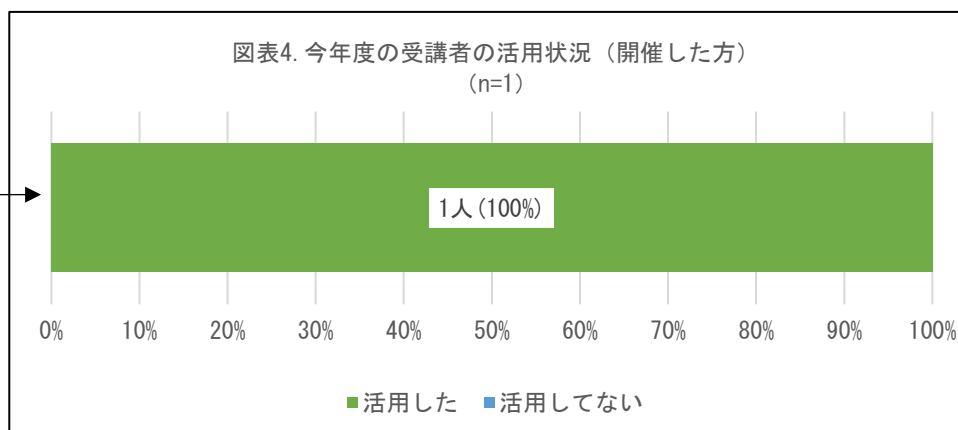
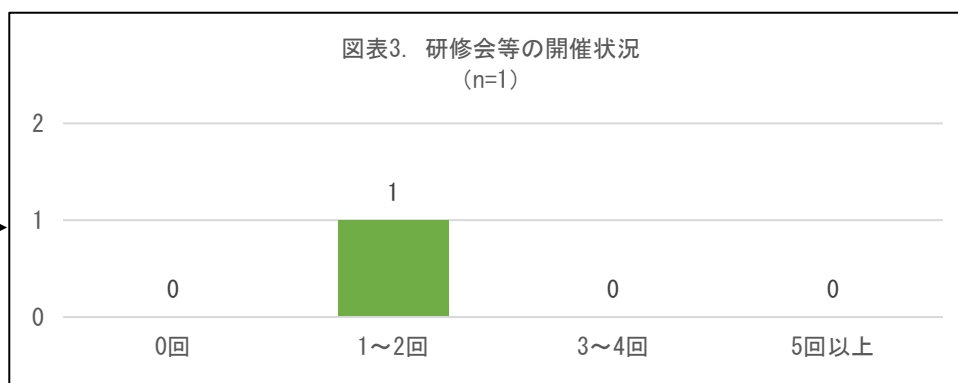
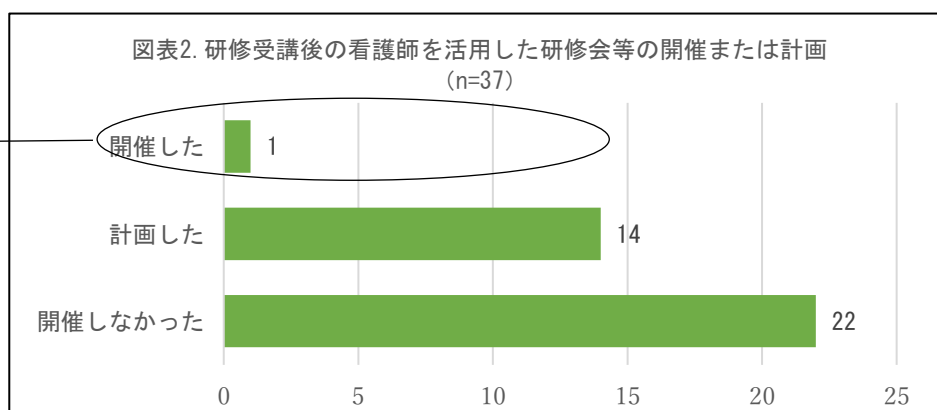
## Ⅱ. 「訪問看護講師人材養成研修会」受講後の地域での講師人材（看護師）の活躍について

### 1. 訪問看護人材の確保や訪問看護の推進・普及に関する研修会等について

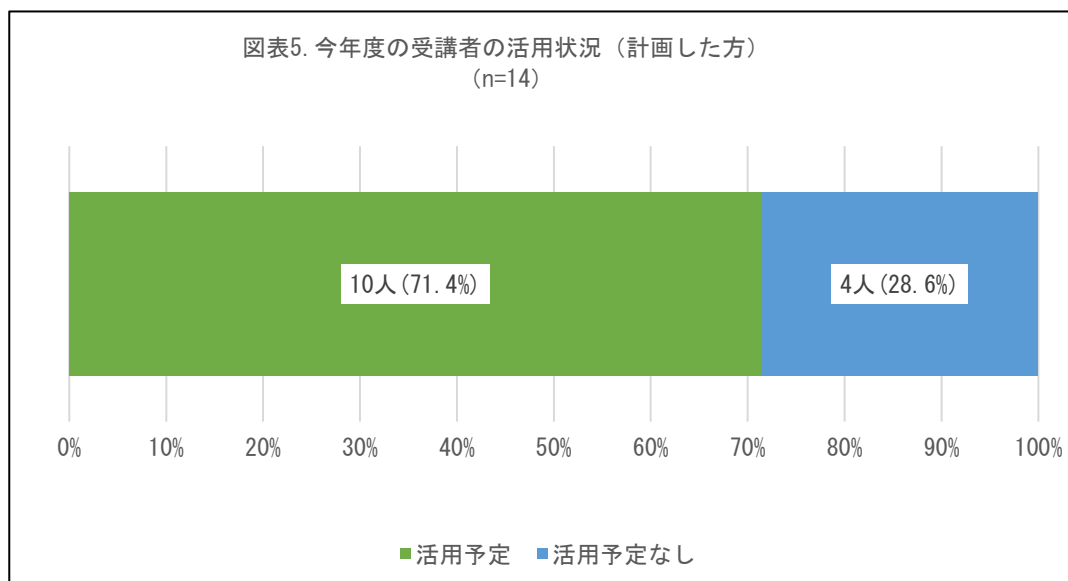
1) 研修受講後、本研修会を受講した看護師を活用しての訪問看護人材確保や訪問看護の推進・普及に関する研修会等の開催または計画をしたかについて

「開催した」が 2.7%（1 人）、「計画した」が 37.8%（14 人）、「開催しなかった」が 59.5%（22 人）であった。

「開催した」と回答した 1 人は 1 回の開催で受講者を活用している。



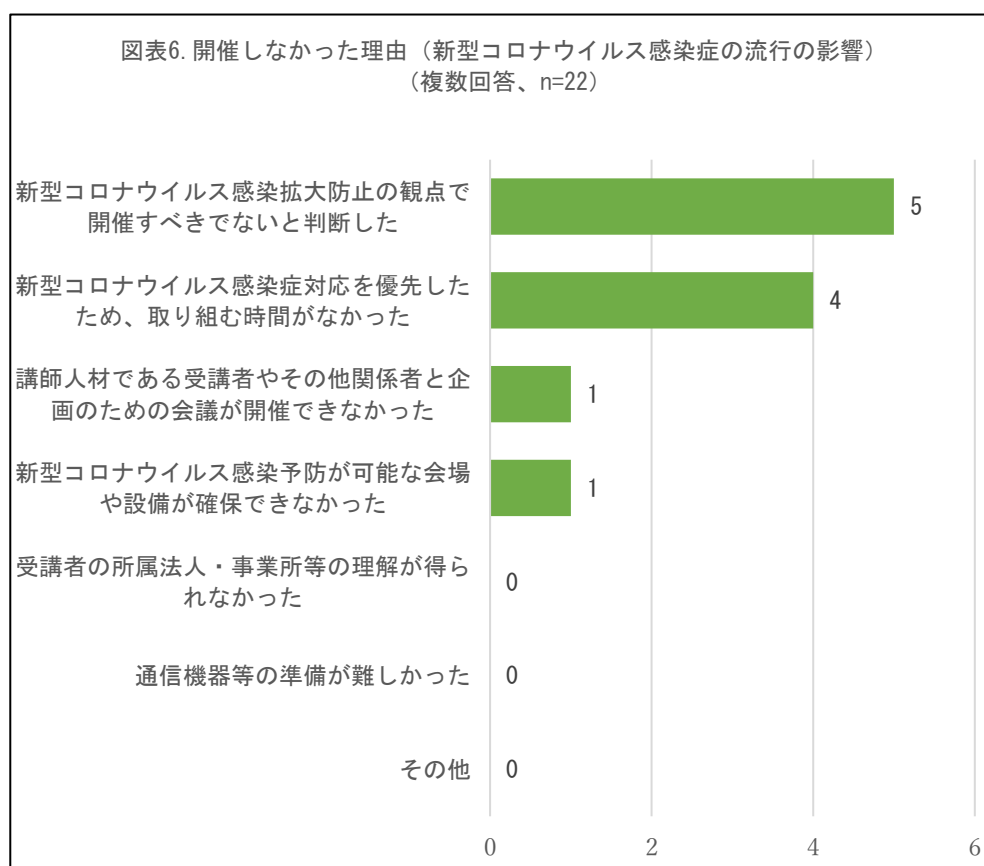
研修会等の計画における今年度の受講者の活用の有無については、「活用予定あり」と回答したものが71.4%（10人）、「活用予定なし」が28.6%（4人）であった。



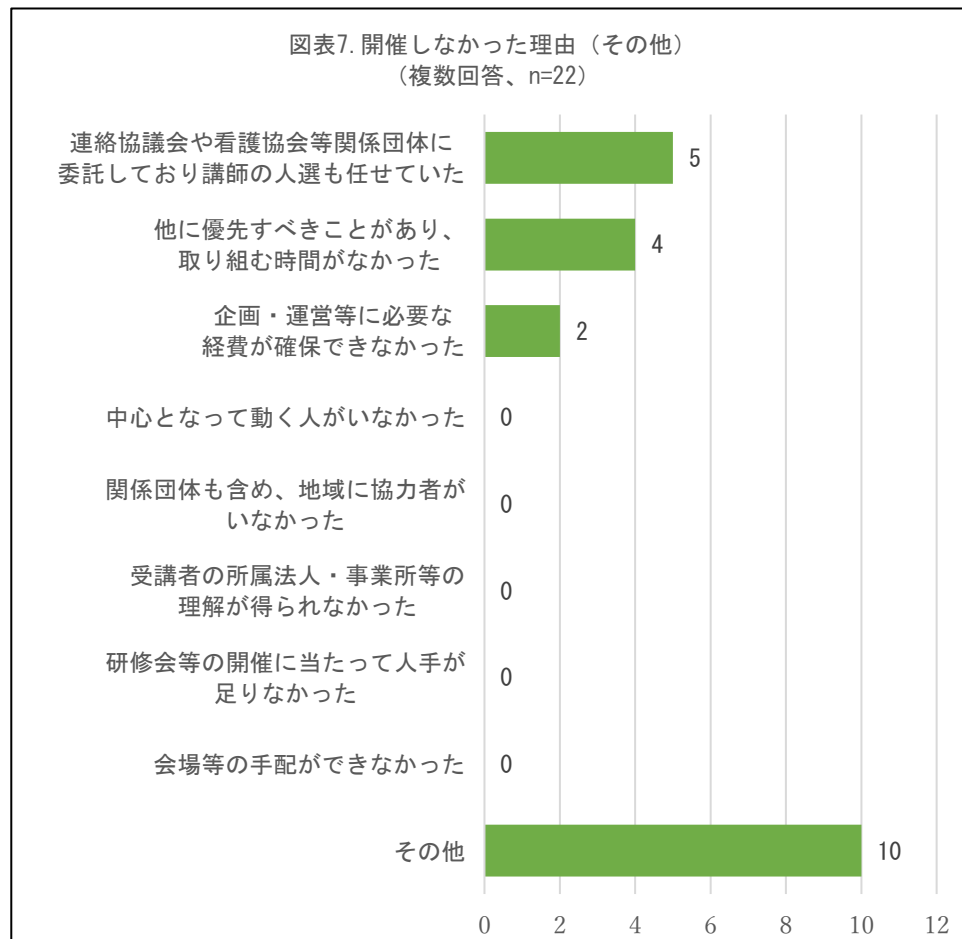
### 3) 開催しなかった理由（新型コロナウイルス感染症の流行の影響）

「開催しなかった」理由（新型コロナウイルス感染症の流行の影響）について

最も多いのが、「新型コロナウイルス感染拡大防止の観点で開催すべきでないと判断した」が 22.7%（5 人）で、次いで「新型コロナウイルス感染症対応を優先したため、取り組む時間がなかった」18.2%（4 人）、「講師人材である受講者やその他関係者と企画のための会議が開催できなかった」「新型コロナウイルス感染予防が可能な会場や設備が確保できなかった」がそれぞれ 4.5%（1 人）であった。



新型コロナウイルス感染症の流行の影響以外の理由では、「訪問看護ステーション連絡協議会や看護協会等関係団体に委託しており、講師の人選も任せていた」が 22.7%（5 人）で最も多く、次いで「他に優先すべきことがあり、取り組む時間がなかった」が 18.2%（4 人）、「企画・運営等に必要な経費が確保できなかった」が 9.1%（2 人）であった。



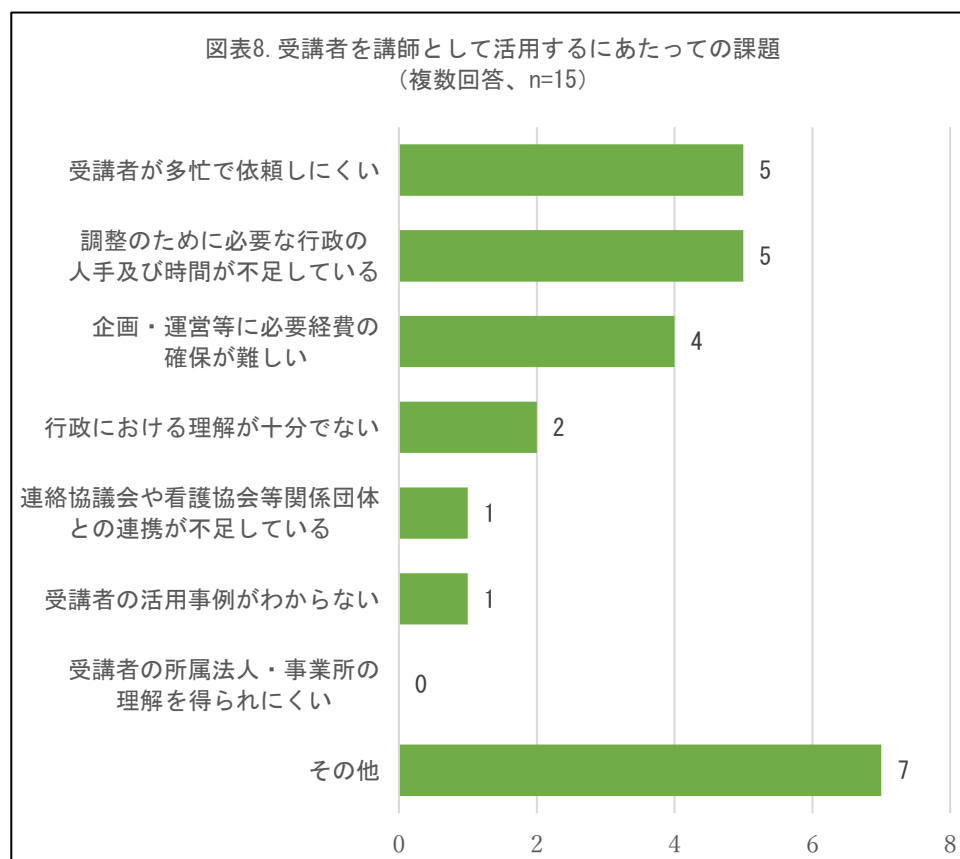
「その他」の自由記載（10 人 45.5%）

- ・ 関係団体で既存の研修があるため受講した看護師の所属する事業所へ、事業委託をしている。
- ・ 本事業受講者は例年、都道府県事業（新人訪問看護師OJT研修）等の講師として活躍している。
- ・ 現在、過去の参加者も交え計画について検討中。
- ・ 関係各所との調整が年度内に完了することが難しいため。
- ・ 予算確保や事業変更が年度内では、難しいため。
- ・ 把握していない。

#### 4) 受講者を講師として活用するにあたっての課題

今後地域の研修会等で受講者を講師等として活用するにあたり、どのようなことを課題と感じているかについて

「受講者が多忙で依頼しにくい」「調整のために必要な行政の人手及び時間が不足している」がそれぞれ 33.3%（5 人）、「企画・運営等に必要経費の確保が難しい」が 26.7%（4 人）、「行政における理解が十分でない」が 13.3%（2 人）、「訪問看護ステーション連絡協議会や看護協会等関係団体との連携が不足している」「受講者の活用事例がわからない」がそれぞれ 6.7%（1 人）であった。



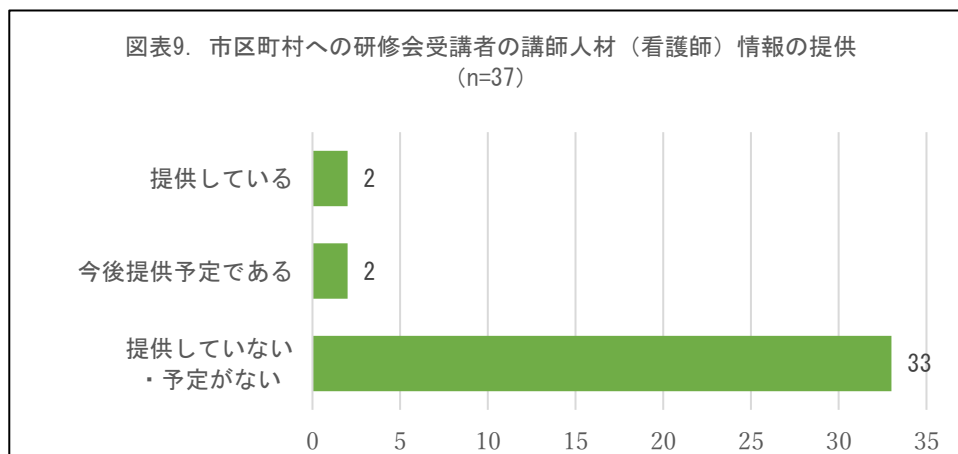
「その他」の自由記載（7 人 46.7%）

- ・予算事業のため、研修受講後に年度内で研修会を開く、というのが現実的なスケジュールではない。
- ・地域課題の把握、解決するための研修内容はできたが、実施までには詰める内容が多く、予算確保できなかったこともあり、本年度中の実施は見送ることとなった。
- ・例年スケジュールの決まっている既存事業に組み込む形での実施を検討しているため、今回の受講者に講師を依頼するに当たり、日時調整等について課題があると考え。
- ・受講者と所管地域の保健所が連携をとりながら地域の研修会等を企画しているが、コロナ業務により、計画はできても実施が未定になっている。
- ・新型コロナ感染状況により、各種調整が困難な場合がある。
- ・具体的な研修会の実施に向けたプランニングまでできなかった。
- ・課題については訪問看護ステーション連絡協議会と共有していきたい。
- ・本研修受講者には、必ず研修講師等として活躍いただくことをお願いしているため、今のところ不都合はない。



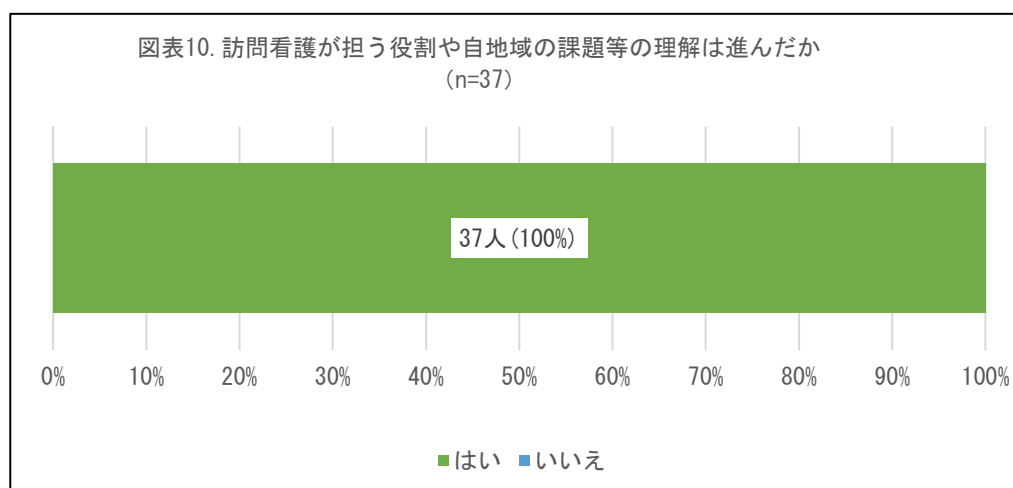
#### 5) 市区町村への研修会受講者の講師人材（看護師）情報の提供

市区町村に「訪問看護講師人材養成研修会」の講師人材（看護師）の情報を提供しているかについて「提供していない・予定がない」が 89.2%（33 人）で 9 割弱を占めた。「提供している」「今後提供予定である」がそれぞれ 5.4%（2 人）であった。



#### 6) 訪問看護が担う役割や自地域の課題等の理解は進んだか

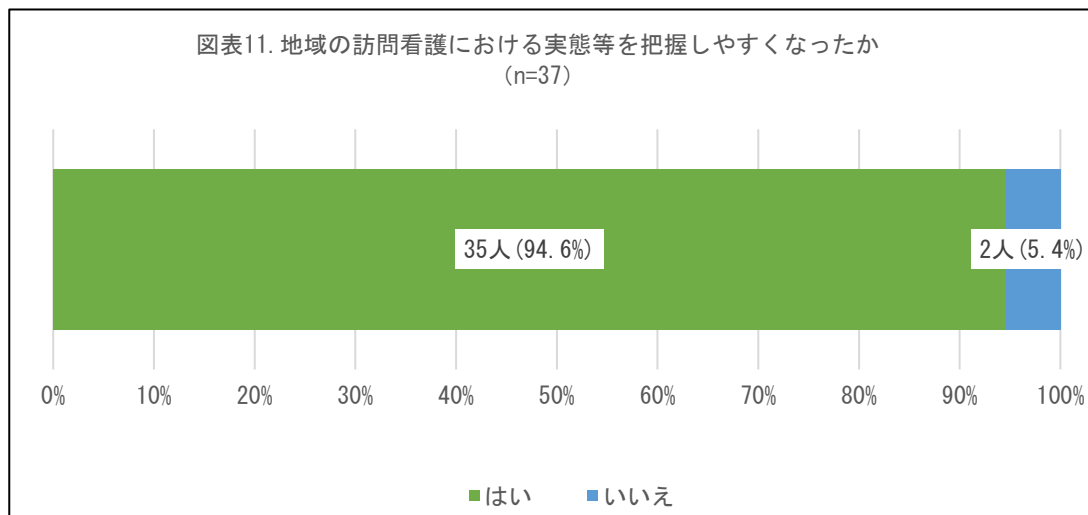
本研修会の受講により、訪問看護が担う役割や業務内容、自地域における訪問看護における課題等に関する理解が進んだかについて「はい」が全数の 100.0% (37 人) であった。



## 7) 地域の訪問看護における実態等を把握しやすくなったか

本研修会の受講により、講師人材（看護師）を通して地域の訪問看護における実態等を把握しやすくなったかについて

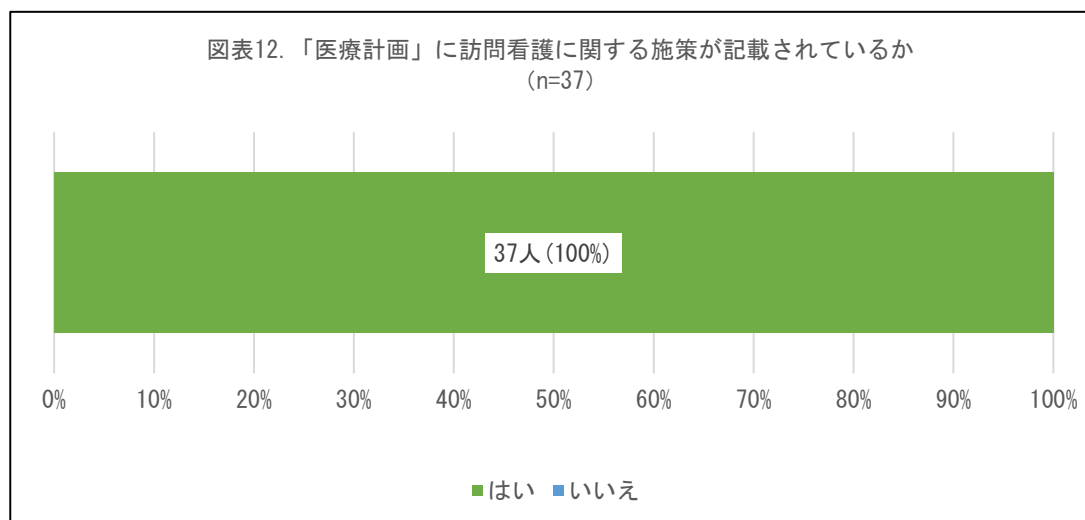
「はい」が94.6%(35人)、「いいえ」が5.4%(2人)であった。



## 8) 「医療計画」に訪問看護に関する施策が記載されているか

都道府県の「医療計画」に訪問看護に関する施策が記載されているかについて

「はい」が全数の100.0%(37人)であった。

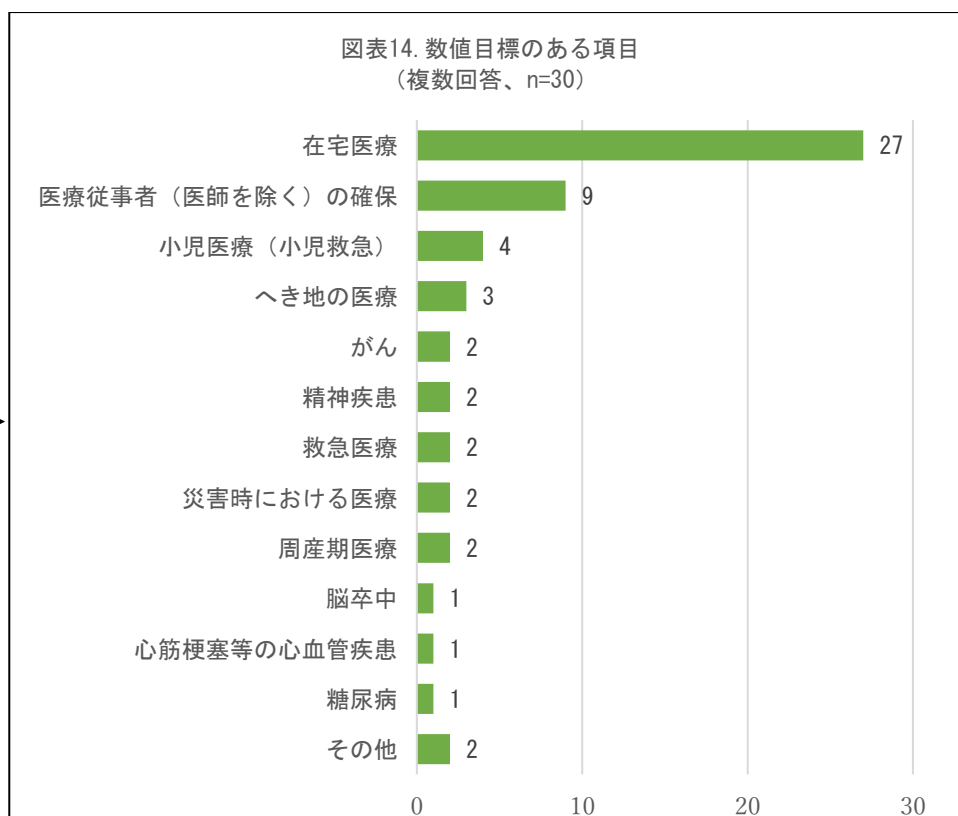
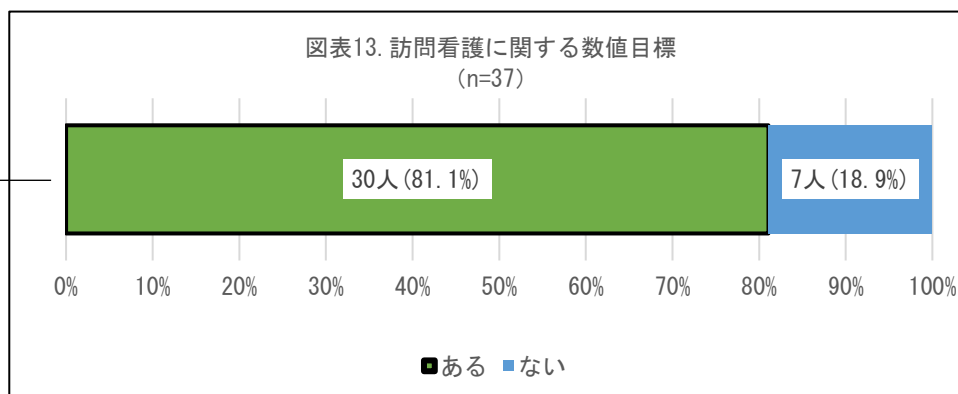


## 8) 都道府県の「医療計画」に訪問看護に関する施策が記載されているか。

### (1) 「医療計画」に訪問看護に関する施策の数値目標

都道府県の「医療計画」に訪問看護に関する施策の数値目標について「ある」が81.1% (30人)、「ない」が18.9% (7人)であった。

また、数値目標のある項目は、「在宅医療」が90.0% (27人)で最も多く、次いで「医療従事者（医師を除く）の確保」30.0% (9人)、「小児医療（小児救急）」13.3% (4人)、「へき地の医療」10.0% (3人)、「がん」「精神疾患」「救急医療」等がそれぞれ6.7% (2人)、「脳卒中」「心筋梗塞等の心血管疾患」「糖尿病」がそれぞれ3.3% (1人)となった。



「その他」の自由記載

難病対策、認知症対策、母子保健福祉対策、障害者保健福祉対策

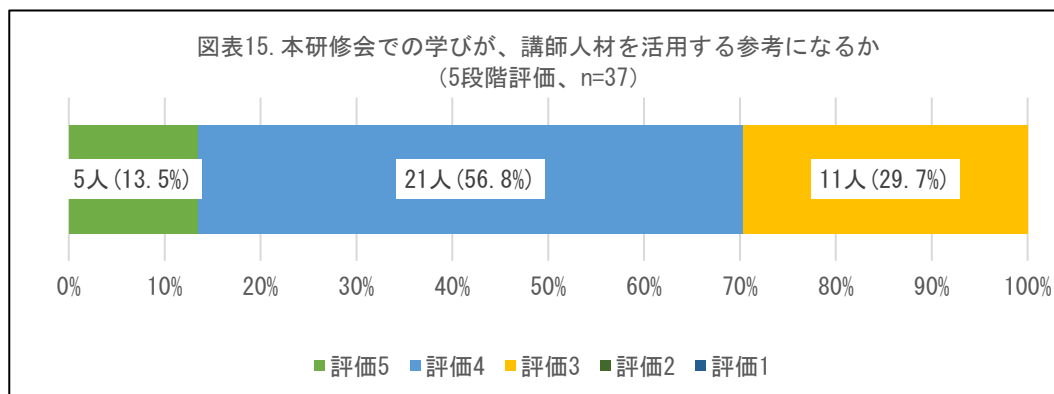
8) (2) 項目別数値目標（指標）

|                                     |
|-------------------------------------|
| <b>■在宅医療</b>                        |
| ・訪問看護ステーション数                        |
| ・24時間体制をとっている訪問看護ステーション数            |
| ・24時間体制の訪問看護ステーションのある二次医療圏数         |
| ・24時間体制の訪問看護ステーション従事者数のうち、看護師・准看護師数 |
| ・機能強化型訪問看護ステーション数                   |
| ・ターミナルケアを実施している訪問看護ステーション数          |
| ・訪問看護ステーションに従事する看護師数                |
| ・訪問看護ステーション1箇所あたりの訪問看護師数            |
| ・訪問看護ステーション従事者数                     |
| ・訪問看護利用者数                           |
| ・訪問看護提供数                            |
| ・訪問看護利用見込み                          |
| ・訪問診療を受けた患者数                        |
| ・最期を自宅で暮らすことができた人の割合                |
| ・退院支援ルールを設定している2次保健医療圏数             |
| ・訪問診療を実施している診療所・病院数                 |
| ・在宅療養後方支援病院数・在宅療養支援病院数              |
| ・在宅看取りを実施している病院・診療所                 |
| <b>■医療従事者（医師を除く）の確保</b>             |
| ・訪問看護ステーションに勤務する看護師数（常勤換算数）         |
| ・訪問看護ステーションに従事する訪問看護職員数             |
| ・保健師、助産師、看護師確保数                     |
| ・県内従事者数                             |
| ・人口10万人当たり看護職員人数（常勤換算）              |
| ・新人看護職員を指導する実地指導者養成数                |
| ・看護師等の離職時届出人数                       |
| ・特定行為指定研修機関又は協力施設数                  |
| <b>■がん</b>                          |
| ・年齢調整死亡率等                           |
| ・がん患者の就労支援に関する研修受講者数                |
| <b>■脳卒中</b>                         |
| ・年齢調整死亡率等                           |
| <b>■心筋梗塞等の心血管疾患</b>                 |
| ・年齢調整死亡率等                           |
| <b>■糖尿病</b>                         |
| ・年齢調整死亡率等                           |

|                                       |
|---------------------------------------|
| <b>■精神疾患</b>                          |
| ・精神病床における入院需要等                        |
| ・精神科病院入院後3・6・12か月時点退院率、同病院1年以上の長期在院者数 |
| <b>■救急医療</b>                          |
| ・耐震化した病院の割合                           |
| ・心肺機能停止患者の1か月後の社会復帰率                  |
| <b>■災害時における医療</b>                     |
| ・DMAT チーム数等                           |
| ・DMAT 関連研修の実施回数                       |
| ・BCP 策定済みの災害拠点病院・救護病院                 |
| ・同病院で行う研修及び訓練数                        |
| ・2次保健医療圏単位で災害医療コーディネート機能確認の訓練実施数      |
| <b>■へき地の医療</b>                        |
| ・訪問看護ステーション数                          |
| ・へき地拠点病院からへき地へ医師を派遣した回数等              |
| ・医療提供支援策が実施されている無医地区の割合               |
| ・へき地医療拠点病院によるへき地への巡回診療                |
| ・同病院へのへき地への代診医等派遣                     |
| <b>■周産期医療</b>                         |
| ・周産期死亡率                               |
| ・母体救命講習受講者数                           |
| <b>■小児医療（小児救急）</b>                    |
| ・乳幼児訪問の受け入れ可能な訪問看護ステーション数             |
| ・小児に対応している訪問看護ステーション数                 |
| ・乳児死亡率                                |
| <b>■その他の事業</b>                        |
| ・看護師の特定行為研修修了者数                       |
| <b>■難病対策</b>                          |
| ・難病患者ホームヘルパー養成研修受講者数                  |
| ・難病患者介護家族リフレッシュ事業利用者数                 |
| ・在宅人工呼吸器使用難病患者に対する災害時個別支援計画策定         |
| <b>■認知症対策</b>                         |
| ・認知症サポーター養成数                          |
| <b>■母子保健福祉対策</b>                      |
| ・医療従事者向け母子保健研修受講者数                    |
| <b>■障害者保健福祉対策</b>                     |
| ・重症心身障害児(者)等を対象とした医療型短期入所サービス施設数      |

## 9) 本研修会での学びが、講師人材を活用する参考になるか

訪問看護講師人材養成研修会で学んだことが、講師人材を活用するにあたって参考になるかについて5段階評価で、「評価4」が56.8%（21人）と最も多く、次いで「評価3」が29.7%（11人）、「評価5」が13.5%（5人）となっており、「評価2」「評価1」の回答はなかった。評価平均は3.8であった。



## 5段階評価の理由（自由記載、一部抜粋）

### ■評価5

- ・国の動向や訪問看護の概要を理解した上で、人材育成（教育方法）やグループワークの進め方等具体的に講師人材を活用しながら研修企画する際の参考になる内容だった。
- ・現場の状況を知ったうえで現場の方と一緒に今後必要な取り組みを検討することができた。
- ・先に動画配信研修で学び、オンラインのグループワークを行う構成がより学びを深めることができた。
- ・訪問看護師2名と一緒に受講し課題に取り組んだが、訪問看護の課題や視点を共有できた。また、研修内容や受講者の考えを所管地域の保健所に伝えたことで、保健所が受講者を講師とした会議等を企画する一助になった。
- ・実際の従事者たちとグループワークにて意見交換し、現場サイドのニーズ等を実際に聴取できたことが大きかった。

### ■評価4

- ・講師人材がどのような内容を修得した人達かがわかり、研修目的に沿った講師依頼ができると思う。
- ・地域の訪問看護の現状と課題について現場の管理者や関係団体の方々と共有し、事業所継続のための支援の方向性について理解を深めることができた。
- ・研修等を企画する際の講師の選定方法等について、意見交換が行えた。
- ・訪問看護に関する地域の課題を共有し、今後の研修方法のあり方を検討する機会を実際にもったことで、どのような立場にいる看護職を講師として活用するのが最適なのか改めて考えることができた。
- ・訪問看護の現状把握についてはもちろん、研修会のやり方、進め方についての説明を受け、その講義等を通して受講者の看護師の方と行政とで交流する場をもてた。

|                                                                                                                                                                     |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・受講者と顔の見える関係性が形成でき、今後の研修等では相談しやすい。また、課題が明確になったことで、訪問看護師が課題と感じていることを研修に活かすことができる。</li> </ul>                                  |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・訪問看護体制支援事業における今後の研修実施方針等の参考となった。</li> </ul>                                                                                 |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・研修で学んだ内容や実際に現場で従事する看護職員から課題等を確認することで、講師選定の際の参考となる情報を確認することができたため。</li> </ul>                                                |
| <b>■評価 3</b>                                                                                                                                                        |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・現状把握ができた。</li> </ul>                                                                                                        |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・訪問看護ステーションや訪問看護師の状況の理解が深まった。</li> </ul>                                                                                     |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・行政の中で人材育成の担当課も研修会に参加出来ると良いと思う。</li> </ul>                                                                                   |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・関係者を巻き込んで計画を立案している段階であるため、講師人材の活用については今後具体的に考えることになる。</li> </ul>                                                            |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・この研修会自体が看護師を活用することには参考にしていない。関係団体が把握している人材の方が有用である。</li> </ul>                                                              |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・参考にはなと思うが、県が予算化している訪問看護職員を対象とする人材育成研修のメニューはある程度整っている。</li> </ul>                                                            |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・スタッフ 5 人以下の小規模なステーション管理者が参加者として来ていた。前年もそんな状況なので、講師人材として活用できない。本業が多忙（管理業務+訪問）でそこを何とか調整してもらい研修を行う、というのは現実的ではないと思う。</li> </ul> |

(令和3年度在宅医療関連講師人材養成事業 訪問看護分野)

令和3年度受講者用  
～行政担当者～

## 「令和3年度訪問看護講師人材養成研修会」

### アンケート調査へのご協力をお願い

日頃より、訪問看護の推進につきまして格別のご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

過日は、標記研修会にご参加頂きありがとうございました。

本研修会は、地域における訪問看護の講師人材の育成支援を趣旨としており、研修を受講されました都道府県訪問看護担当者の方を対象に、研修プログラムの評価として、受講後の講師人材（看護師）の活用に関する調査を実施いたします。ご多用中大変恐縮ですが、全ての受講者にご回答をいただきたく存じます。

なお、本調査の結果については、厚生労働省の会議等に提示させていただく他、都道府県、都道府県看護協会や都道府県訪問看護ステーション連絡協議会等が講師人材のお力を活用していただく際の参考となるよう、公表を予定しています。

何卒ご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。

◇ 締め切り：令和4年1月28日（金） ◇

令和4年1月6日  
一般社団法人全国訪問看護事業協会

\*\*\*\*\*



## I. 基本情報についてお伺いたします。

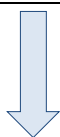
|                                          |                                   |  |  |
|------------------------------------------|-----------------------------------|--|--|
| 1) 都道府県名                                 |                                   |  |  |
| 2) ご所属                                   |                                   |  |  |
| 3) 都道府県担当部署への研修会の情報共有はどのように行いましたか(複数選択可) | <input type="checkbox"/> 定例会議等で報告 |  |  |
|                                          | <input type="checkbox"/> 報告書による報告 |  |  |
|                                          | <input type="checkbox"/> その他 ( )  |  |  |
|                                          | <input type="checkbox"/> 共有していない  |  |  |

## II. 「訪問看護講師人材養成研修会」受講後の地域での講師人材（看護師）の活躍について

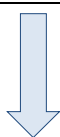
1. 訪問看護人材の確保や訪問看護の推進・普及に関する研修会等についてお伺いします。

1) 研修受講後、本研修会を受講した看護師（過去の受講者を含む）を活用して訪問看護人材確保や訪問看護の推進・普及に関する研修会等（技術研修・講演会など）の開催または計画をしましたか。

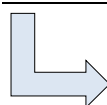
☐ 開催した



☐ 計画した



☐ 開催しなかった



3) へお進みください

2) 「開催した」方は①：研修会等を開催した回数をご記載いただき、その研修会等に本研修会の受講者（過去の受講者を含む）を活用した場合は□にチェックを入れてください。

「計画した」方は②：計画における今年度の受講者の活用を予定している場合は□にチェックを入れてください。

|        | 研修会等の開催状況 | 今年度の受講者の活用状況                                                  |
|--------|-----------|---------------------------------------------------------------|
| ①開催した方 | 回         | <input type="checkbox"/> 活用した <input type="checkbox"/> 活用してない |
| ②計画した方 |           | <input type="checkbox"/> 活用予定 <input type="checkbox"/> 活用予定なし |

⇒回答後、4) へお進みください

3) 1) で「開催しなかった」と回答された方に伺います。

新型コロナウイルス感染症の流行による影響の場合は①に、その他の場合は②に、具体的な理由をお答えください。

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ①新型コロナウイルス感染症の流行の影響により、開催しなかった場合（複数選択可）                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
| <input type="checkbox"/> 講師人材である受講者やその他関係者と企画のための会議が開催できなかった<br><input type="checkbox"/> 新型コロナウイルス感染予防が可能な会場や設備が確保できなかった<br><input type="checkbox"/> 受講者の所属法人・事業所等の理解が得られなかった<br><input type="checkbox"/> 通信機器等の準備が難しかった<br><input type="checkbox"/> 新型コロナウイルス感染拡大防止の観点で開催すべきでないと判断した<br><input type="checkbox"/> 新型コロナウイルス感染症対応を優先したため、取り組む時間がなかった<br><input type="checkbox"/> その他（ ）                                                                                           |
| ②その他の場合（複数選択可）                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
| <input type="checkbox"/> 中心となって動く人がいなかった<br><input type="checkbox"/> 関係団体も含め、地域に協力者がいなかった<br><input type="checkbox"/> 受講者の所属法人・事業所等の理解が得られなかった<br><input type="checkbox"/> 研修会等の開催に当たって人手が足りなかった<br><input type="checkbox"/> 会場等の手配ができなかった<br><input type="checkbox"/> 企画・運営等に必要経費が確保できなかった<br><input type="checkbox"/> 他に優先すべきことがあり、取り組む時間がなかった<br><input type="checkbox"/> 訪問看護ステーション連絡協議会や看護協会等関係団体に委託しており、講師の人選も任せていた（受講者でない看護師が講師を担っていた）<br><input type="checkbox"/> その他（ ） |

4) 2) で「開催した」「計画した」と回答された方に伺います。

今後地域の研修会等で「訪問看護講師人材養成研修会」受講者である看護師を講師等として活用するにあたり、どのようなことが課題と感じていますか（複数選択可）。

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 受講者が多忙で依頼しにくい<br><input type="checkbox"/> 調整のために必要な行政の人手及び時間が不足している<br><input type="checkbox"/> 訪問看護ステーション連絡協議会や看護協会等関係団体との連携が不足している<br><input type="checkbox"/> 受講者の所属法人・事業所の理解が得られにくい<br><input type="checkbox"/> 企画・運営等に必要経費の確保が難しい<br><input type="checkbox"/> 行政における理解が十分でない<br><input type="checkbox"/> 受講者の活用事例がわからない<br><input type="checkbox"/> その他（ ） |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

5) 市区町村に「訪問看護講師人材養成研修会」の講師人材（看護師）の情報を提供していますか。

☐ 提供している      ☐ 今後提供予定である      ☐ 提供していない・予定がない

6) 本研修会の受講により、訪問看護が担う役割や業務内容、自地域における訪問看護の課題等に関する理解は進みましたか。

☐ はい

☐ いいえ

7) 本研修会の受講により、講師人材（看護師）を通して地域の訪問看護における実態等を把握しやすくなりましたか。

☐ はい

☐ いいえ

8) 都道府県の「医療計画」に訪問看護に関する施策が記載されていますか

☐ はい

☐ いいえ



「はい」とお答えいただいた方は、以下の内容をお答えください。

(1) 訪問看護に関する数値目標はありますか。

☐ ある

☐ ない



「はい」とお答えいただいた方は、以下の内容をお答えください。

i) 数値目標のある項目にチェックをしてください。

☐ 在宅医療

☐ 医療従事者（医師を除く）の確保

☐ がん

☐ 脳卒中

☐ 心筋梗塞等の心血管疾患

☐ 糖尿病

☐ 精神疾患

☐ 救急医療

☐ 災害時における医療

☐ へき地の医療

☐ 周産期医療

☐ 小児医療(小児救急)

☐ その他（

）

ii) 数値目標(指標)をご記入ください。

| 疾病・事業名  | 指標       |
|---------|----------|
| (例)在宅医療 | 訪問看護利用者数 |
|         |          |
|         |          |
|         |          |
|         |          |
|         |          |

9) 訪問看護講師人材養成研修会で学んだことが、講師人材（看護師）を活用するにあたって参考になりますか。5段階評価で該当する数字を選択してください。また、その理由を具体的にご記載ください。

全く参考にならない | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | とても参考になる

評価 【アイテムを選択してください】をクリックし、▼をクリックすると項目が出てきますのでひとつ選択してください。

選んだ番号【 アイテムを選択してください。 】

理由：

受講後に講師人材（看護師）を活用した研修会等を開催した方は、主な研修会について次ページからの【研修会の詳細】にご記載ください。

◆「受講者を講師として活用し、研修会等を開催した」と回答した方に、開催した研修会の詳細（1例）についてお伺いします。

講師人材（平成28年度～今年度事業の受講者）を活用した主な研修会（1例）についてご回答ください。

なお、好事例としてホームページ等で紹介させていただく場合があります、お問い合わせ等をさせていただく可能性がございますことを申し添えます。

研修会の詳細

|                           |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
|---------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ① どのような研修会等を開催しましたか       | <input type="checkbox"/> 訪問看護講師人材養成研修会伝達研修会等<br><input type="checkbox"/> 訪問看護事業所の経営・管理者に関する研修会等<br><input type="checkbox"/> 訪問看護基礎研修会等<br><input type="checkbox"/> スキルアップ研修（例：フィジカルアセスメント）等<br><input type="checkbox"/> 看取り・人生の最終段階におけるケア・ACP(人生会議)等に関する研修会等<br><input type="checkbox"/> 訪問看護の周知・啓発の研修会等<br><input type="checkbox"/> その他（ ）                                                                     |
| ② 研修会のタイトル                |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
| ③ 具体的な内容についてご記入ください（自由記載） |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
| ④ 開催エリア                   | 都道府県名： _____<br>（以下、いずれか1つを選択）<br><input type="checkbox"/> 講師人材の事業所が所在する二次医療圏での開催<br><input type="checkbox"/> 講師人材の事業所が所在する二次医療圏以外での開催<br><input type="checkbox"/> 講師人材の事業所の所在地域によらないオンライン上での開催（ハイブリッド含む等）                                                                                                                                                                                                      |
| ⑤ 対象者（複数回答可）              | <input type="checkbox"/> 訪問看護師等（管理者）<br><input type="checkbox"/> 訪問看護師等（スタッフ職員）<br><input type="checkbox"/> 病院の看護職員（看護部長・師長・主任）<br><input type="checkbox"/> 病院の看護職員（スタッフ職員）<br><input type="checkbox"/> 看護職以外の専門職（職種： _____）<br><input type="checkbox"/> 看護学生 <input type="checkbox"/> 看護師養成機関教職員<br><input type="checkbox"/> 利用者・家族 <input type="checkbox"/> 地域住民・一般の人<br><input type="checkbox"/> その他（ _____） |
| ⑥ 参加者数（1つ選択）              | <input type="checkbox"/> 1～20名 <input type="checkbox"/> 21～40名 <input type="checkbox"/> 41～60名 <input type="checkbox"/> 61～80名<br><input type="checkbox"/> 81～100名 <input type="checkbox"/> 101名～150名 <input type="checkbox"/> 151名以上                                                                                                                                                                           |
| ⑦ 開催方法                    | <input type="checkbox"/> 対面研修 <input type="checkbox"/> Web（オンライン）研修 <input type="checkbox"/> 対面とWebの混合研修                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
| ⑧ 研修会等開催の財源（1つ選択）         | <input type="checkbox"/> 1. 医療介護総合確保基金<br><input type="checkbox"/> 2. 都道府県の事業費（事業名 _____）                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |

